

# 聖徳太子を

## 歴史教科書から消してはならない

千葉県中学歴史教科書読み比べ会 オフィシャルサイト: <https://kyokasyoyokunare.jimdo.com/>

### 中学歴史教科書 読み比べ

令和元年  
11月9日(土)  
第12号

〈発行者〉  
千葉県  
中学歴史教科書  
読み比べ会

〈連絡先電話〉  
070-6941-1941



聖徳太子二王子立像  
(自由社版中学歴史教科書より)

#### 【はじめに】

令和二(二〇二〇)年は、『日本書紀』編纂から千三百年目にあたる年である。聖徳太子の業績(冠位十二階の制定、十七条の憲法、遣隋使の派遣など)が、歴史上初めて記された我が国最古の国史である。(注:『古事記』には太子の業績に関する記述はない)その聖徳太子の名前が、近年の高校の教科書では「厩戸王(聖徳太子)」(山川出版社『詳説日本史B』)とカッコつきの表記に変わっているのだ。最新の学説に基づく記述だとされるが、千三百年の歴史の重みを完全に無視した暴挙と言わざるを得ない。以下、中学歴史教科書各社は、聖徳太子の人物と業績をどのように記述しているかを比較する。

#### 【東京書籍】

「聖徳太子の政治」側注三八頁、本文三八頁

② 聖徳太子(五七四〜六二二)と伝えられる肖像画(東京都宮内庁蔵)≡

≡朝鮮半島では、六世紀に百済や新羅が勢力を強め、大和政権と密接な交流があった伽耶地域の国々を併合しました。

このころ日本では、…この争いを和らげるために女性の推古天皇が即位すると、おいの聖徳太子(厩戸皇子)が摂政になり、蘇我馬子と協力しながら、中国や朝鮮に学んで、大王(天皇)を中心とする政治制度を整えようとした。なかでも、かんむりの色などで地位を区別する冠位十二階の制度は、家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を、役人に取り立てようとしたものです。また、仏教や儒学の考え方を取り入れた十七條の憲法では、天皇の命令に従うべきことなど、役人の心構えを示しました。

中国では六世紀の末に、隋が南北朝を統一して強大な帝国を造り上げました。…六〇七年に小野妹子などを送り、この後数回にわたって隋に使者を送りました。…

#### 【教育出版】

「聖徳太子の政治と遣隋使」側注三四頁、本文三四頁

③ 聖徳太子と伝えられる肖像画(宮内庁侍従職像)≡

≡中国に隋が成立した六世紀の末、蘇我馬子は、姪の推古天皇を女帝として即位させました。そして、天皇の甥にあたる聖徳太子(厩戸皇子)が、摂政として天皇の政治を助け、馬子らとともに、中国や朝鮮半島の国々にならった新しい政治を始めました。

七世紀の初め、朝廷では冠位十二階の制度が定められ、家柄にとらわれず、能力や功績のある豪族を役人に取り立てる道が開かれました。さらに、聖徳太子は、仏教や儒教の教えをもとにした十七條の憲法をつくり、豪族が争いをやめ、天皇を中心とする政治にはげむように、役人としての心構えを説きました。また、隋との国交を開き、中国から進んだ文化を取り入れようとして、小野妹子らを遣隋使として派遣しました。遣隋使とともに多くの留学生や僧が隋に渡り、政治制度や仏教などを熱心に学びました。≡

#### 【帝国書院】

「蘇我氏と聖徳太子」側注三二頁、本文三二頁

⑤ 伝聖徳太子像(五七四〜六二二)この絵は奈良時代にえがかれたものです。(宮内庁蔵)≡

≡そのころヤマト王権では、豪族の対立や争いが激しくなりました。そのなかで渡来人の知識と技術を利用して、勢力を大きくのびしたのが蘇我氏でした。六世紀半ばに、百済から仏教が伝わると、蘇我氏はその導入に努めました。また、反対

する物部氏をたおして実力者となると、対立する大王を殺害し、額田部の王女(のちの推古天皇)を大王にしました。

大王の摂政となった**聖徳太子(厩戸王)**は、蘇我馬子と協力して新しい政治を行いました。太子は大王中心の政治をめざし、また中国にも認めてもらうため、**冠位十二階の制度**を設けて、家がらにとられず、有能な人を役人に用いました。さらに仏教や儒教の考え方を取り入れた**十七条の憲法**を定め、大王の命令に従うことなど、役人の心得を示しました。…太子は隋へ小野妹子らを遣隋使として使わしました。そして、隋の進んだ政治の仕組みや文化を取り入れるため、正式な国交をめざしました。》

### 【自由社】

〔①聖徳太子の新しい政治〕側注五二頁

《聖徳太子二王子立像 聖徳太子(五七四〜六二二)の像として伝えられている、わが国最古の肖像画。(宮内庁蔵)》

〔隋の中国統一〕本文注五二頁  
《六世紀の末、大陸では重大な変化がおこった。五八九年、隋が中国全土を約三〇〇年ぶりに統一したのだ。強大な軍事力をもつ隋の出現は、東アジアの国々にとって大きな脅威だった。朝鮮半島の百濟、高句麗、新羅は、隋に冊封された。日本も、これにいかに対処するか、態度を迫られることになった。》

〔聖徳太子の登場〕本文五二〜五三頁

《…聖徳太子(厩戸皇子)という若い指導者だった。…五九三年、聖徳太子は、二〇歳の若さで天皇を助ける摂政となった。…

六〇〇年、**聖徳太子**は、隋に使節(遣隋使)を送った。日本が中国の王朝と交渉をもつのは一二〇年ぶりのことだった。遣隋使によって隋の強大さを知った太子は、日本が独立した国家として、さらに発展するためには、大陸から優れた技術や制度を取り入れる必要があると考えた。》

〔官位十二階と十七条の憲法〕本文五三頁

〔天皇号の始まり〕本文五四〜五五頁

《翌年の六〇八年、三回目の遣隋使を派遣することになった。そのとき、国書に記す君主の称号どうするかが問題となった。中国の皇帝の怒りがあった以上、中国の君主と同じ称号となることはできない。…そこでこのときの手紙には、「東の天皇つつしみて、西の皇帝にもうす」と書かれた。皇帝の文字をさけることで隋の立場に配慮しつつも、「一皇」の文字をみずから**の称号**に使うことで、**両国が対等である**ことを表明したのである。これが、**天皇**という称号が使われた始まりだった。…》

以下、教科書各社のポイントを比較する。

〈比較項目①…聖徳太子の肖像画の掲載〉

東京書籍 太子の頭部のみ。聖徳太子と伝えられる肖像画。

教育出版 太子の頭部のみ。聖徳太子と伝えられる肖像画。

帝国書院 太子の頭部のみ。伝聖徳太子像。

自由社 太子と二王子の全身像。聖徳太子二王子立像。聖徳太子の像として伝えられている、わが国最古の肖像画。

〈比較項目②…聖徳太子の名前、業績の記載〉

東京書籍 聖徳太子(厩戸皇子)、業績の記載あり。

教育出版 聖徳太子(厩戸皇子)、業績の記載あり。

帝国書院 聖徳太子(厩戸王)、業績の記載あり。

自由社 聖徳太子(厩戸皇子)、業績の記載あり。

〈比較項目③…聖徳太子の外交方針。遣隋使の役割の記述〉

東京書籍 中国や朝鮮に学び、政治制度を整える。

教育出版 中国や朝鮮半島の国々にならった新しい政治を始める。

帝国書院 隋の進んだ政治の仕組みや文化を取り入れる。

自由社 大陸の優れた技術や制度を取り入れつつも、国書により、対等の立場を強調し、隋に決して服属しないという決意を表明した。

我が国の国家の基礎を築いた**聖徳太子**の人物像や業績は、千三百年の時を経て尚、『日本書紀』の記載を尊重すべきと考える。最新学説を採用するとしても、学説自体が時代とともに変化し、また学者の研究態度によっても影響を受けることが往々にしてある。**聖徳太子**という存在が、現在の我が国における、対東アジア外交の大元になっていることは間違いないのである。以上

「中学歴史教科書読み比べについて」

大手三社の中学歴史教科書の全国採択状況は、左記のとおりです。

東京書籍(六〇万七千八百五十六冊、占有率二五・〇%)、帝国書院

(二一萬三〇七七冊、占有率一七・九%)、教育出版(一六萬八千

七八冊、占有率一四・一%) ※平成二八年度版 文科省公表値より

私共は、この大手三社に加え、**自由社**の併せて四社の歴史教科書を約二年間に亘って読み比べました。その結果、正しい歴史の記述がなされ、子供が日本の国に誇りの持てる歴史教科書は、**自由社**の教科書であるとの結論に至りました。私共はこの結果を踏まえ、全国の中学生の子供を持つ父兄、及び教育関係者への周知を図るため、「中学歴史教科書読み比べ」を不定期に発行し、全国の八割以上の中学校で採択されている大手三社の歴史教科書の問題点を明らかにしてゆく所存です。(会員一同)

※バックナンバーご希望の方は、オフィシャルサイトへどうぞ。